

令和6年度 延岡市立北方学園 学校関係者評価書

段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
本年度の重点目標	学力の向上	心の教育の充実	健康・安全・体力の向上	夢・自信・誇りの育成

評価項目	評価規準	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント ○よい、●改善、◎意見、★質問
学力の向上	1 基礎・基本の徹底 ・諸調査の分析・活用 ・学びの確認・見届けの徹底 ・語彙力の育成	○研究主任を中心に分析を行うことができていたので、今後の学びの確認にいかしていきたい。 ○授業では毎時間目標とするところを計画的に行い、授業の最後に定着をはかるためにワークの問題を解かせることができた。 ●学びの確認や見届けについては各担当で差があると感じる。	3	3	○体験活動を通じ、学び、感じ、感謝できる体験学習が多いと感じる。 ○計画的にワーク問題を解かせることができたと考えられていることは良いことだと思う。 ○担当の先生の格差は勉強会などをおこない、統一していけるとよいと思う。 ○学習における基礎・基本は身につけていると思える。 ◎課題に対する継続した取り組みをお願いしたい。
	2 思考力・判断力・表現力の育成（主体的・対話的で深い学習の推進） ・教科横断的な教育課程編成（言語能力） ・問題解決的学習・体験的学習の充実 ・言語活動の充実、校内ICTの推進（文房具化・日常化）	○子どもたちが当たり前のようにタブレットを使用しながら学習しており、文房具化に近づいているのではないかなと思う。 ○活発的な対話を促したり、実践したりすることができた。 ○今年度初めてジグソー法を取り入れた学び合い学習による授業を行った。これからも、生徒に思考力・判断力・表現力を育ませるためにジグソー法を取り入れた授業を積極的に活用したい。	3	3	○体験活動を通して考え、対話しながら学習できたと感じる。 ○子ども達がタブレットを使いこなしているのは先生方の指導の賜物だと思う。 ○多面的な視点から意見を出し合い、まとめる力の育成を進めることはすばらしい。 ○保護者でもわからないようなP C・タブレットの使い方をしていた。 ●子どもによっては得意不得意が大きく出そうなどではないか？ ★ジグソー法を取り入れた学びの具体的な課題を教えてほしい。 ★この先タブレット等が当たり前になると思うが、P C等に頼りきりになり、検索すればいいと思っていると学力が下がる気がする。
	3 指導力の向上 ・PDCAサイクルの校内研究推進 ・相互授業参観 ・4つのチェックポイント・ひなたの学びによる授業改善	○主題研で、授業について他の先生方から多くのものを吸収できた。 ○相互授業参観が特によかった。ひなたの学びについても意識するきっかけになった。 ○中学校の先生方の授業を参観させていただくことで、小学校とのつながりを知ることができた。	3	3	○相互授業参観は北方学園ならではの特色が生かしていると思う。 ○年配の方の良いところ、若い方の斬新なところを評価し合うとよい。 ○小中のつながりがあるのは非常によいと思う。
	4 学習基盤の整備 ・家庭学習の充実 ・読書活動の充実	●家庭学習の定着について、年度当初の粘り強い指導が必要だと感じた。 ○読書活動について、図書祭りなど開催されたことで、児童の読書量は一時的に増えた。 ○図書室の来室者数、貸出冊数は前年度より増えている。 ●日常的な図書館の利用が十分にできていない。 ●北方分館の図書支援に頼るところが多かった。委員会活動をもっと活発にしたい。	3	3	○家庭学習（宿題）に取り組んでいる姿があった。 ○毎週本を借りているようで、「本が好きです」と言っている児童もいた。 ○読書も個々の特色が出る部分だと思うので「+1」にできれば十分だと思う。 ●自分の子どもだが、冊数にこだわって、自分のレベルに合った本を読んでいない。冊数も大事だし、本を読むことも大事なので、質の向上をはかってもらいたい。◎北方分館の図書支援はもっと利用してもよい。 ◎児童生徒の読書離れが全国的に進んでいるので、学園における読書活動の充実をさらに図ってほしい。

心の教育の充実	<p>1 いのちを大切にする教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核となる教育（SOS）・下地づくりの教育（人権教育・道徳教育・特別支援教育）の充実 ・校内環境の整備（ガイダンスとカウンセリング機能の強化） 	<p>○職員間で細やかに情報共有しながら、児童生徒理解や対応・指導の検討をしている。S C等との連携も密にされている。</p> <p>○特別支援学級の児童に関して、きめ細やかな支援や声掛けで、落ち着いた学校生活を送ることができている。</p> <p>○朝の会や帰りの会、道徳の授業において、S O Sの出し方や命の大切さ、人権教育を行うことができた。</p>	3	3	<p>○定例会で情報共有できた。</p> <p>○すばらしい取り組みだと思う。</p> <p>○見ている限り、素直で良い子が多いと感じる。</p> <p>●生徒間・保護者間の考え方の違いで、大なり小なりストレスを感じることはあると思う。大事なのはその時にどう考えるか、どう行動できるかの育成だと思う。</p>
	<p>2 自己指導能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の3機能を活かしたスクールワイドPBSの推進 ・児童会生徒会活動の活性化 ・Q Uの分析・活用 ・勤労生産奉仕的行事の充実 	<p>○本年度は、小中の連携も多く委員会活動が活発に行われている。</p> <p>○昨年度に引き続き花壇の整備など全校で取り組むことができている。</p> <p>●児童会活動でいつも感じるが、自分たちの課題の把握がうまくできていないことと、先生や中学生に頼り切っているためか、小学生から意見が出ないことが気になる。</p>	3	3	<p>○児童会と生徒会の連携した取り組みが今後も継続されるとよい。</p> <p>○校則改定の会に出席したが、自分たちで考え、しっかりプレゼンすることができていた。</p> <p>●花壇の整備についてはもっと地域の人を利用してもよいのではないか。</p> <p>●小学生から意見が出ないのは主体性がないからではないか。全体で活動すると中学生主体になるのはしょうがないので、小学生だけの時には、必ず一人一回は発表するようにしてはどうだろうか。</p>
	<p>3 社会性の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ指導の徹底 ・ルールメイキング活動の推進 ・体験学習の充実・儀式的・文化的行事の充実 	<p>○体験学習や文化的行事など、内容が充実してきており、子どもたちが意欲的に参加している。</p> <p>○生徒会主導によるルールメイキング活動を進めることができた。</p> <p>○●自分から進んで大きな挨拶をする児童は少ないように感じる。その中でも6年生は自分から進んで挨拶する児童が多いので、他の学年のお手本となっている。</p>	3	3	<p>○あいさつは大きな声でできている。特に中学生はすばらしい。</p> <p>○体験学習の回数が多く、地域の方との交流にもつながっていると思う。</p> <p>○6年生が率先して挨拶できていることが非常にすばらしいと思う。</p> <p>○社会生活にはルールがあること、高校生活、会社勤め、車の運転、サッカーや野球もルールがないと危険でおもしろくないと言うことを学んでほしい。</p> <p>○コロナが開けているいろいろな活動もできるようになったのでがんばってもらいたい。</p> <p>◎地域でもあいさつをよくする子としない子が見うけられる。</p> <p>●文化的行事については少し消極的ではないか。</p> <p>●小中学校全体で自分から進んで挨拶ができるように指導が必要ではないか。（上級生が手本となる）</p>
	<p>4 人間関係の基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級経営の充実 ・組織的ないじめ対応 ・チーム学校による生徒指導体制整備 ・旅行集団宿泊的行事の充実 	<p>○報連相をこまめに行い、情報を共有しながら生徒指導に取り組むことができた。</p> <p>○生徒指導上の問題が起きたとき、管理職や生徒指導担当と一緒に解決方法を考えるという連携の形ができている。</p> <p>○●家庭のこともありなかなか解決できないことはあるが、体制ができていることで問題に向き合いやすい。</p>	3	3	<p>○現状、大きな問題はないと思っている。</p> <p>●家庭的な問題があるところでは民生委員などが協力できないか。</p> <p>◎毎月の定例会で問題を共有し、解決方法を考えたい。</p> <p>◎今後も組織的ないじめに対する対応をお願いしたい。</p> <p>◎教職員より時にはP T A、保護者、地域の方に頼った方が解決が早いこともあると思う。臨機応変に対処をお願いしたい。</p>

健康・安全・体力の向上	1 望ましい生活習慣の醸成 ・立腰指導の徹底 ・感染症・熱中症対応の徹底 ・性教育の推進 ・学校保健委員会の充実	○感染症・熱中症予防は、職員間の共通理解を図った上で、委員会の児童生徒と連携しながら日常的に行っている。性教育の実施や学校保健委員会の開催も計画的にできた。 ●立腰指導の徹底ができなかった。	3	3	○はげまし隊支援日に感染症の多いクラスへの支援・配慮があった。 ○今から熱中症予防は今以上に厳しくなってくると思うので、継続と対策をしてほしい。 ●我が子の姿勢が悪い。（立腰） ◎児童生徒が正しい知識を身につけられるよう性教育のさらなる充実を図ってほしい。 ★立腰指導とは？ ★性教育の推進については、保護者は自分や他の子どもがどのような教育を受け、どれくらいの知識をもっているか理解できているのか？保護者向けに指導内容の説明や連絡をしているのか？
	2 安全教育の推進 ・安全点検・危機管理体制の見直しと徹底 ・防災人材育成事業の推進 ・登下校指導の充実	○安全点検の項目が明記され、誰もが同じ視点で行うことができている。 ○定期的に立ち番指導を行うことで、子どもたちの登校時の実際を知ることができた。 ●立番指導等のフィードバックなどがあるとよいかもしれない。	3	3	○登下校では見守り隊員さんも協力できている。登下校時の挨拶もできていると感じる。 ○立ち番指導は大変でしょうが、これからもよろしくお願いいたします。 ○先生方に北方を見ていただいたのは非常に良いと思う。 ●立番指導等のフィードバックができる仕組みをすぐに作ろう。
	3 体力や運動能力の向上 ・スクールスポーツプランによる意図的体力向上 ・保健安全体育的行事の充実	●スクールスポーツプランをどの程度活用しているか見えてこない。体育主任が作成したプランを職員に今後も浸透させていくことが必要。 ○中学校の雰囲気を楽しむながらの体育大会は、小中一貫ならではの感覚だと思う。小学生にとって良い刺激になる場面もあった。 ○体育主任から体力向上のための資料が出され活用している。	3	3	○休み時間や放課後など、学年関係なく一緒に遊んでいるので、低学年にはよい刺激になっていると思う。 ●体力向上についてはもっと熱心な先生がいてもよい。 ●先生方・保護者などにフィードバックできる仕組みをつくるとよい。 ●体育大会が半日の中学生中心の現状を変更していく必要があるのではないか。（中と小を別日もしくは午後も実施） ●運動している子、していない子の差、そもそもの体力の低下があると思う。 ◎スクールスポーツプランの職員間での共有をお願いしたい。 ★スクールスポーツプランとは？
	4 食育の推進 ・教科横断的な食育推進 ・給食検討委員会の充実	○栄養教諭がリーダーシップを発揮し、給食指導に関する検討が進んだ。 ●教科横断的な食育については、学級担任や教科担任の意識の向上や協議が必要だと感じる。	3	3	○毎食校内放送で献立に関する紹介が行われており、児童生徒の食に関する関心を高めている。 ○おいしい給食をありがとうございます。 ●給食についてのHP更新が少ないのではないかな。 ◎給食着の利用については色々意見もあると思うが、個人のエプロンではいけないかな。 ◎食育のテーマの中に「食品ロスを考えよう」とある。婦人会活動の中でも食品ロスをなくそうということで、今年度出前講座と調理実習を実施し再確認した。学習の中でも取り入れられたらと思う。 ★教科横断的な食育とは？社会や理科・体験学習で、一つの食に対する学びをするということか？その場合、一つのテーマを作り、共通認識のもと進めてはどうか。

夢・自信・誇りの育成	1 キャリア教育の充実 ・「流域治水」をテーマとした探究活動の推進 ・進路指導の充実	○中学校は、年度初めに、系統的に総合的な学習の時間の計画を立て、それに沿って授業を行うことができた。 ●流域治水をテーマとして探究活動については、本年度小学校全体で系統的な計画がなく思うように進めることが難しかった。※教師自身が「流域治水」をうまく理解できていなかった	3	3	○調べたことをわかりやすく説明するという発表を通じ、生徒たちの自覚が備わったと感じる。 ○中学生が清流祭において「流域治水」に関する劇を披露するなど、探究活動が確実に推進されている。 ○中学生の発表はすばらしかったと思う。人数が少ない中、うまくできていた。 ●教師自身がうまく理解できなかった（大人でも理解が厳しい）ことを子ども達に理解させることは可能か。※2名 ●テーマを絞るとか単純化して進める必要があるのではないか。 ◎治水については北方では重要な問題です。
	2 魅力ある学校づくりのための連携・協働 ・CS（コミュニティ・スクール）・地域学校協働活動を柱とした地域連携の強化 ・接遇の向上 ・HPの改善・充実 ・報道の活用 ・学校評価の活用	○地域コーディネーターのおかげで、地域での活動がスムーズに行えた。 ○HPの更新回数は前年度より減ったが、内容が精選されるようになった。 ○通信（学校だよりや保健だより等）もHPに載せることで、保護者の目に届く機会を増やすことができていると思う。	3	3	○地域コーディネーター、HP運用、学校通信は非常に素晴らしいと思う。 ○昨年度行った行事については活動がスムーズに行えたと思う。これまで以上に活動を増やし、地域の方との信頼を深めていきたい。 ○いろいろな地域活動をしている子ども達が楽しそうだった。 ●HPの更新回数が少なくなった。紙ベースを止めたのだからもっと更新してほしい。 ●地域の連携の分野の進みがどうしても遅いと感じている。（しょうがないとは思っている） ◎北方分室も協力してCSのさらなる充実を図っていきたい。
	3 教職員の資質向上 ・教職員評価・新しい研修制度の活用 ・校内OJTの推進 ・メンター方式による学校の課題解決 ・コンプライアンスの推進（危機管理体制の整備） ・一人一研究推奨	○校内研修（ちょこっと研修含む）が充実していた。 ○教職員評価のミーティングでも、具体的な目標や達成度について触れ、意識向上に繋がった。 ○教職員間の関係が風通しがよく、チームで動いていると感じる。	3	3	○校内研修が充実しているほか、職員間のコミュニケーションが十分に図られており素晴らしい。 ○教職員の方々が満足して仕事ができる環境であれば良いことだと思う。 ◎PTAとしても、もう少し先生方とからめればよかった。
	4 学校の組織力向上 ・研修・会議の充実 ・働き方改革第二期の推進 ・校務分掌組織の改編 ・推進リーダーの機能強化 ・PDCAサイクルによる学校改善システムの定着 ・報連相の徹底	○研修・会議の内容が精選されて、前年度より余裕が生まれた。 ○研修や会議が充実しており、職員の共通理解が図られたもとで組織的に動いていた。	3	3	○上記同様、研修や会議が充実していることが素晴らしい。職員のコミュニケーションが十分に図られている証拠だと思う。 ○働き方改革が進んだおかげで、先生方に余裕ができた実感があるのは良いこと。 ●自分の時間を犠牲にするほど努めてくれる人材は少なくなるのではないかと少し心配。
[次年度の方向性についての校長所見] ※ 学校関係者評価書を令和7年度の学校経営ビジョンに具体的に反映させていく。 ※ 特に以下の項目については重点的に取り組む。 （1）協働的な学び（言語活動）の充実 （2）体験活動の充実 （3）生活習慣（生活リズムや衛生習慣）に関する指導の徹底 （4）「流域治水」探究活動の推進					